

藤井友里子選手への「富山県民栄誉賞」の贈呈について

1 富山県民栄誉賞について

「広く県民に敬愛され、県民に明るい希望と活力を与えるとともに富山県の名を高めることに特に顕著な功績があったもの（富山県表彰規則第6条）」に対して行われる表彰

(過去の受賞例)

H21. 3. 18 滝田 洋二郎氏 (第81回アカデミー賞外国語映画賞受賞作品「おくりびと」監督)

H22. 3. 25 田畑真紀選手・穂積雅子選手 (第21回オリンピック冬季競技大会スピードスケート女子チームパシュート銀メダル)

H28. 9. 12 田知本 遥選手 (第31回オリンピック競技大会柔道女子70kg級金メダル)

登坂 絵莉選手 (第31回オリンピック競技大会レスリング女子48kg級金メダル)

2 被表彰者

藤井 友里子 (ふじい ゆりこ) 選手

所 属 (株)北陸銀行事務センター、富山ボッチャクラブ

生年月日 昭和47年12月1日生 (43歳)

現住所 富山県富山市 (魚津市出身)

出身校 富山県立高志養護学校 (小・中・高)

3 功績概要

本県富山市在住 (魚津市出身) の藤井友里子選手は、ブラジル・リオデジャネイロで開催された第15回パラリンピック競技大会に日本代表として出場し、ボッチャ団体において、見事に銀メダルを獲得されました。

このたびの銀メダル獲得は、ボッチャでは、個人・団体を通じて日本初の快挙であるとともに、本県関係選手として、夏季、冬季を通じ、パラリンピック団体種目では初めてのメダリストです。

色々とハンディもおありの中で、日頃の精進と厳しい練習の積み重ねが実を結び、世界中が注目する大舞台でこのような偉業を成し遂げられたことは、大変素晴らしく、まさに県民の誇りです。

藤井友里子選手の活躍は、県民はもとより国民の皆さんに勇気と感動、子どもたちや障害のある方々に夢と希望を与えるとともに、人が輝く「元気とやまの創造」を目指し、障害者スポーツの振興に積極的に取り組んできた富山県の名を大いに高めるものであり、その功績は、誠に顕著であります。

